

平成 28 年度 気ままにセミナー

「なりたい自分をイメージしよう～高校生のための未来へつながる自分探し～」  
実施報告書

日時：2016 年 11 月 12 日（土）17：45～20：00

場所：八幡西生涯学習総合センター 2 階 204 会議室

講師：眞鍋和博（北九州市立大学教授）

金廣邦高（キタキュウマンプロジェクト代表）

笠井美穂（NHK「ニュースブリッジ北九州」キャスター）

参加者：高校生 48 名（公募）

（※本文中敬称略）

議事（要約）

**講義：眞鍋和博（北九州市立大学教授）（17：45～18：00）**

「やりたいこと」を見つけ続けるためには、学び続けることが大事。学び続けることは、行動すること。失敗を恐れることなく、チャレンジしよう。



「人は何のために働くのか？」食べていくため、人のため、社会のため・・・正解は無い。「将来やりたいこと」・・・簡単には見つからない。成長に伴い考え方も変わるし、人との出会いでも影響を受ける。でも、「どうせ変わるんだからそんなこと考えなくてもいい」というわけではない。

人の人生は 80%偶然で決まるといわれている（Planned Happenstance Theory）。ただし、自分が何も考えずに漠然と過ごしても偶然はやってこない。偶然を自分のキャリアに変えていくには、「好奇心、持続性、樂觀性、柔軟性、冒険心」をもって、やりたいことを見つけ続けることが大事。

これから先何が起るかわからない時代。しかも世の中の色々なものが多様化し、価値観の境界線がなくなっている。そんな時代に生きている皆に今から必要なのは、机上の学習だけではなく、「社会人基礎力、基礎的汎用能力」を身に付けること。これらがあればどういふ世の中になっても、どういふ仕事についてもやっていける。

今「学ぶ」ことの自体の意味も変わってきている。今後必要な「学び」とは、「経験して、振り返って、概念にして、実験する」こと。「やりたいこと」を見つけ続けるためには、学び続けることが大事。学び続けることは、行動すること。失敗を恐れることなく、チャレンジしよう。

今、自分のやりたいことができているのは、  
「自分はこれが好き」という軸がブレていなかったから。  
偶然を繋げる努力は自分の意思。  
それがないと偶然が転がってきた時につかめない。



### キタキュウマン誕生秘話

高校生の頃は、仮面ライダーに憧れてヒーローになりたかった。当時通っていたのは進学校。特に英語が得意だったので、将来は通訳になるんだろうと思っていた。徐々にヒーローから離れていった。就職を考えた時も、皆と同じ事をして安心を手に入れることがイヤだった。皆が何十という会社を受ける中、自分らしいことをしようと思い、自分が本当に行きたい所だけを受けた。結果、その会社はダメだったので、自分で得意なことを何か始めようと思った。その時思いついたのが、ずっと好きだったヒーロー！北九州に帰ってきて、自分でキタキュウマンを誕生させた。本当に偶然。就職活動が上手くいっていたら今の姿はなかった。

自分はフリーランス。やるべきことをやればそれだけのお給料をもらえるが、会社員と違って波がある。いつ仕事なくなるかわからないリスクがある。最初は誰にも知られてなくて、誰も呼んでくれなかった。こうして4年間続けてこられたのは、応援してくれる人が増えたから。使命感がある。表向きヒーローなので裏でもヒーローでありたい。

大変なのは、自分で仕事を生み出さないといけないこと。ビジネスとしてやっていかなければならない。仕掛けづくりも自分で行う。台本も自分で書く。事前の勉強は必要。お笑いのコントがヒーローショーの台本に活かされている。大変だけど、自分がやりたいことなので楽しんでやっている。

### アナウンサーになったきっかけ

この世界、小学校から「アナウンサーになりたい」という人が多い中、就職活動時は「出版社かな、広告代理店かな」と自分でも決めかねていた。ただ、何故か周りの人達には、「アナウンサーになるんでしょ」と言われてきた。調べてみるとアナウンサーになるのは大変。就職活動の片手間ではできない。真剣に準備することにした。結果、鹿児島テレビ局に内定を頂いた。鹿児島で勤務した後、今はNHK「ニュースブリッジ北九州」のキャスターをしている。

自分はずっとしゃべるのが好きだった。趣味がなかなか続かない自分が唯一続けているのはしゃべること。だからこの仕事をやっているのだと思う。皆も将来のことを考える時に、あんまり難しいことを考えないほうがいいのかも。楽しめることや好きなことを探してみよう。

社会に出て働いていると、自分一人で生きていたら経験できなかったことも多い。仕事では、「苦手だからとか嫌だからやらない」と断ることはできない。大変だった事は、後から振り返るとその分いい思い出になっている。逆に楽にできた事は後からみるとあまり覚えていない。

### 偶然を拾い上げるためには

眞鍋先生が講義で言われていた「偶然」は色々転がっているが、それを拾い上げるかどうかはその人次第。今、自分のやりたいことができているのは、「自分はこれが好き」という軸がブレていなかったからだと思う。

偶然を繋げる努力は自分の意思。それがないと偶然が転がってきた時に掴めない。

### 質疑応答

高校生からお二人へ、高校時代のこと、恋愛のこと、仕事のこと・・・について質問がありました。野球部の男子生徒は金廣さんに「男の磨き方！」について質問し、会場は笑いに包まれました。お二人はとても気さくにご自身の経験を話してくれ、高校生との距離がグンと縮まりました。



### ワークショップ：眞鍋和博（19：00～20：00）

高校生の皆は、「今日の話聞いて感じたこと、思ったこと」を各自画用紙に書いてみました。その後、「学んだことを話す＝アウトプット」することで定着させていくために、ワークショップを行いました。今回行ったのは「トークフォークダンス」方式。皆で輪を作って1対1で向き合い、自分で書いたことをもとに対話する方法です。輪はどんどんまわり、最終的には8人の人と対話しました。最初は皆恥ずかしがっていましたが、徐々に慣れ楽しい時間を過ごしました。このワークショップを通じて、「人に自分の気持ちを話すこと」「人の話を聞くこと」の大切さも同時に学んでもらえたのではないのでしょうか。